



東北農政局

阿武隈土地改良
調査管理事務所

阿武隈だより

A b u k u m a D a y o r i

2013.3 第40号



鶴ヶ城（福島県会津若松市）

menu

- 土地改良区理事長訪問＜仙台東土地改良区＞
- 東日本大震災
 - ・農地除染対策実証事業の効果
- 阿武調情報
 - ・国営母畑地区営農推進活動の紹介
 - ・平成24年度 阿武隈管内（福島・宮城）土地改良情報連絡会を開催
 - ・阿賀川地域広域基盤確立推進協議会を開催
- 地域情報
- きらりピープル＜雄国山麓土地改良区＞

農林水産省

土地改良区理事長訪問



仙台東土地改良区

理事長 佐藤 稔

◇プロフィール◇

●昭和24年6月25日生まれ

昭和43年3月 宮城県農業高等学校卒業

平成13年4月1日 仙台東土地改良区 監事に就任

平成17年4月1日 仙台東土地改良区 理事に就任

平成21年4月1日 仙台東土地改良区 理事長に就任

●座右の銘 平常心

私共の改良区は仙台市の東部七北田川右岸より名取川左岸に広がる田園地帯 2,360ha 余りが管内になります。特に東日本大震災で被害の度合いが甚大であった仙台東部道路の東側の多くは、伊達政宗仙台開府と共に大きく様変わりした地域で領内に広がる低湿地を家臣に所領として与え開墾事業に取り組み、また、領民の入植を奨励推進し現在の集落が形成された地域です。用水は名取川支流の広瀬川左岸愛宕堰からすべての用水を賄います。広瀬川は仙台市西部の奥羽山脈山形県境を水源として約 45km で仙台湾へ流れつきます。また、仙台市の西部丘陵地より平均標高 2~3m の平野部に流れる水は貯水が出来ず毎年水稲開花期前後には渇水対策が最重要課題となります。排水はすべて貞山運河に排出され落差がない為に強制排水に頼らざるをえないのが実状で管内の 4ヶ所に排水機場が設置され排水が成されています。組合員の多くは仙台市と云う消費地を背景に都市近郊型の農業経営が定着しています。

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分強く長い揺れは恐怖心を煽り各々の身の安全を確保するのがやっとでラジオのスイッチを入れると仙台湾に 10m の大津波が押し寄せていると報道が有っても実感がなく、それから数分後現実となり多くの犠牲者が出ると同時に約 2000ha の農地が海面下に沈み何日

過ぎても海水は水田に留まり続け家屋、車、流木等諸々の残骸が所狭ましと重なり合い、吐き気をもよおす様なヘドロの臭い、あの悲惨な情景は筆舌に尽くせないものがありました。

被災 3 日目より宮城県、仙台市、土地連等の応援のもとに災害の実態調査が進みその被害総額も 300 億円更に 500 億円と天井知らずに積み上がり被害の甚大さに身の毛もよだつ思いでした。国による災害復旧も平成 25 年度は 3 年目に成りますが約 400ha がまだ手付かず状態です。一方復興に向けて圃場整備事業の推進協議会が立ち上げられ国直轄の事業として進んでいるところです。圃場整備事業完工までの道程は一朝一夕ではありませんが 400 年前慶長三陸大地震の跡地で我々の祖先が遠々と築き上げてきた優良な農地を子孫に誇れる農地として蘇らせることが震災に直面し生かされし者の使命と心に刻み組合員の皆様と共に心をひとつにして成し遂げる覚悟です。

災害の復旧復興に向けて国（農林水産省東北農政局）はじめ宮城県、仙台市等多くの関係機関農業団体のご理解とご協力、また、県内外の土地改良区と云う絆のもとに物心両面からのご支援等に対し厚く御礼と感謝を申し上げますと共に皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

東日本大震災

○農地除染対策実証事業の効果

農林水産省において平成24年2月から福島県内（4地区）で実施してきました「農地除染対策実証事業」が1月末をもって全て終了し、下記のとおりの実証効果が得られました。

- ・表土削り取りによって、作土層（深さ15cmまで）の放射性セシウム濃度は8～9割程度、地表1mの空間線量率は6～8割程度減少した。**※下記表参照**
 - ・反転耕によって、作土層の放射性セシウム濃度は6割程度、地表1mの空間線量率は3割程度減少した。
 - ・水による土壌攪拌・除去によって、作土層の放射性セシウム濃度は1割程度減少した。
- ※上記、水攪拌工法は繰り返し実施することにより一定の低減率が得られる工法であり、実証事業では表土削り取りを実施した後1回のみ施工を行い除染の状況を確認

○表土削り取りによる作土層（15cmまで）の放射性セシウム濃度の低減状況

地区名	面積 (ha)	施工前 (Bq/kg)	施工後 (Bq/kg)	低減率 (施工前後) (%)
長泥地区	11.0	19,650	1,730	91
小宮地区	11.9	10,210	1,210	88
草野向押地区	7.0	9,890	990	90
山木屋地区（細田）	5.0	5,200	750	86
山木屋地区（日向）	5.1	4,120	570	86

※全408地点の地区別の平均値。

○表土削り取りによるほ場面での空間線量率の低減状況

地区名	面積 (ha)	施工前 ($\mu\text{Sv/h}$)	施工後 ($\mu\text{Sv/h}$)	低減率 (施工前後) (%)
長泥地区	11.0	8.72	2.29	74
小宮地区	11.9	5.16	1.25	76
草野向押地区	7.0	4.20	0.85	80
山木屋地区（細田）	5.0	2.15	0.76	65
山木屋地区（日向）	5.1	2.17	0.67	69

※全408地点の地区別の平均値。
※空間線量率は地上1mの測定値。



法面の除染状況

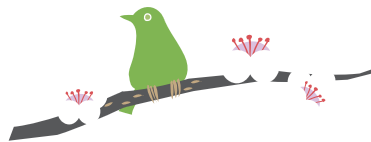


除染後の農地

阿武調情報

○国営母畑地区営農推進活動の紹介

国営母畑地区では、整備された農地と施設を有効活用するため、関係機関が連携し、地域に即した営農を推進・定着させることを目的とした「国営母畑地区要活用農地利活用推進プロジェクトチーム（略して母畑 PT!）」を結成し、営農推進活動に取り組んでいます。



イチジク実証ほ事業の推進について

1. 苗の定植、挿し木による苗の育成

母畑 PT では地区内において、イチジクを農地の有効活用を図る上で期待される作物として位置づけており、耕作放棄地を再生利用したイチジク実証ほ場を設置中です。

実証ほ場は今後、営農講習会の開催や苗木の供給基地として活用することにより、イチジクの特長や栽培技術を周辺地域へ伝播させ、作付けの普及・拡大の機運醸成を図る場として期待されます。



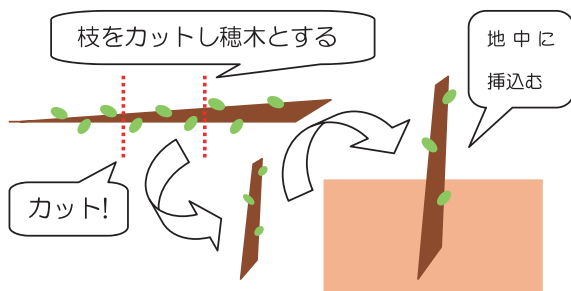
実証ほ場全景



イチジク(定植1年目)

イチジクの特長の一つに「挿し木で容易に増やせる」という点があります。その点に着目し、挿し木により苗を養生中です。

成長した苗はイチジク作付け希望者に配布する予定です。



挿し木作業

2. 加工品の試作

当実証ほ場事業では、いちじくの栽培実証のみならず、将来の販路拡大に向け加工品の試作、市場調査を行います。

H23年度に開催したいちじく需要拡大に向けたPRイベントとして「いちじくアイデアレシピコンテスト」の応募作品からモデルを選定し、そのレシピを基にオリジナルの加工品を加工業者と連携し、試作しました。

試作した加工品については、市場調査として福島県の県中地方で開催されるイベント会場・小売店等において、来場・来店者に対し試食、アンケート調査を実施し、その結果を更なる加工品開発に活用することとしています。

試作した加工品の概要

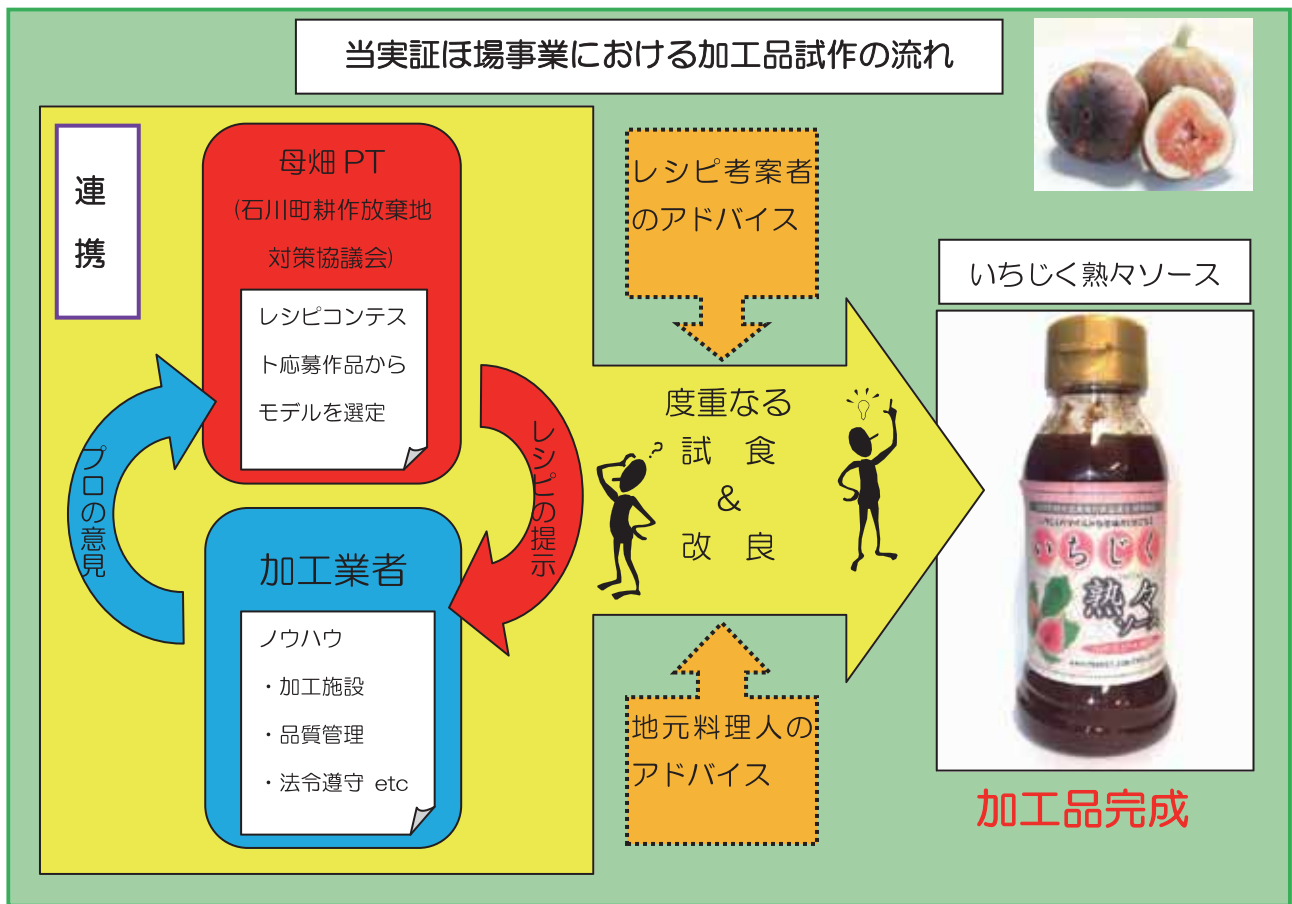
- 品名：いちじく熟々ソース
- 用途：肉、カツ、唐揚げ等
- 容量：215グラム
- 製造者：内池醸造(株)
- 原材料：いちじく、調味料



H23年度のイベント

H23年度のイベント

コンテスト応募作品をモデルとして加工品を試作



阿武調情報

○平成24年度 阿武隈管内（福島・宮城）土地改良情報連絡会を開催

平成24年11月15日～16日の2日間、「平成24年度阿武隈管内（福島・宮城）土地改良情報連絡会」を福島県白河市で開催しました。本会は、阿武隈管内（福島県全域・宮城県南部）における国営事業完了地区の水利使用・農業用施設の管理運営及び施設の更新等に係わる諸問題に対応するため、最新の情報を基に意見交換を行い、今後の農業農村整備に役立たせることを目的に毎年開催しています。

今回は、関係機関（福島県、宮城県、関係土地改良区等）の実務担当者の他、東北農政局整備部設計課、水利整備課及び阿武隈土地改良調査管理事務所職員の総勢45名による会議となりました。

会議1日目は、東北農政局整備部設計課から、平成25年度予算概算要求の概要、取水量測定自動化学業、天候不順に伴う農業用水の水融通に関する協議等について、水利整備課からは、かんがい用水の適正な取水管理、国営施設応急対策事業の制度拡充、国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）の制度拡充、土地改良財産に係る土地改良法に基づく管理規程の策定及び変更等についての情報提供がありました。

福島県からは、「ふくしま水土里の防災力アップ運動」についての情報提供、宮城県からは、「宮城県内の東日本大震災 災害復旧状況」についての情報提供がありました。

阿武調からは、次の項目について情報提供を行いました。

- ・羽鳥ダムの被災状況及び復旧工事
- ・西郷ダムの被災状況及び復旧工事
- ・仙台東地区区画整理事業の概要
- ・事後評価調査
- ・水利権取得状況及び水利使用規則に係る取水量報告
- ・国営施設機能保全事業（施設長寿命化検討調査）
- ・国営造成水利施設保全対策指導事業等
- ・国営施設応急対策事業
- ・国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業
- ・農地除染対策実証事業の実施状況

会議2日目は、阿武隈川上流地区の西郷ダム災害復旧工事現場において施設の被災状況及び復旧工事内容についての現地研修を行い、全日程を終了しました。



会議の様子



西郷ダム 現地研修

阿武調情報

○阿賀川地域広域基盤確立推進協議会を開催 ～調査結果を最終報告～

平成22年度より調査を実施している広域基盤整備計画調査「阿賀川地域」は、3年間にわたる調査結果を「広域基盤整備変更計画書(案)」として取りまとめ、平成25年2月20日に福島県会津若松市内において開催した「阿賀川地域広域基盤確立推進協議会」において承認されました。

本調査の実施にあたりましては、関係機関の皆様にも多大なる御協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

本協議会は、これまで国営かんがい排水事業等が行われてきた阿賀川流域に広がる大規模かつ優良な農業地域を対象とし、食料生産の最重要基盤である農業水利施設を将来にわたり適切かつ良好に維持・存続させていくため、国が策定する広域基盤整備計画について協議・調整を図ることを目的として、平成22年度に設置されました。

<阿賀川地域内の国営地区>

地区名	事業期間	受益面積	主要施設	備考
会津北部	S48～H3	4,576ha	ダム3、頭首工4、用水路19km	かん排
雄国山麓	S45～H4	864ha	ダム1、揚水機場3、用水路18km	農地開発
会津南部	S52～H5	4,352ha	頭首工2、用水路35km	かん排
会津宮川	S55～H16	4,387ha	ダム1、頭首工3、用水路21km	かん排

本調査では、地域内の水利用状況や営農実態及び維持管理上の課題等を調査するとともに、基幹的農業水利施設の機能診断調査を行い、各地区の長寿命化に配慮した更新整備計画を策定し、「広域基盤整備変更計画書(案)」として取りまとめました。



会津北部土地改良区 穴澤理事長の挨拶



協議会の様子

協議会当日は、調査結果の最終報告会として、福島県、関係市町村、土地改良区及び土地改良事業団体連合会の代表者から構成する委員等19名の出席により開催されました。

冒頭に本協議会の会長である会津北部土地改良区穴澤理事長から挨拶を頂き、その後事務局である阿武隈土地改良調査管理事務所から3年間の調査結果を報告しました。その結果、「広域基盤整備計画(案)」については、満場一致で承認され、最後に阿武隈土地改良調査管理事務所 名和所長の挨拶により、本協議会は閉会となりました。

地域情報

○がんばるぞ！白河「食と職の市」で広報活動＜阿武隈川上流地区＞

平成24年10月27～28日にかけて、白河市主催の「がんばるぞ！白河 食と職の市」が開催されました。阿武隈川上流地区管理体制整備推進協議会では、阿武隈川上流地区について広報活動を行いました。

本広報活動は、阿武隈川上流地区内の関係土地改良区、福島県、福島県土地改良事業団体連合会及び阿武隈土地改良調査管理事務所などにより組織され、今年で連続3回目の参加となりました。

屋外出展テント内には、阿武隈川上流地区や西郷ダムなどのパネルを展示し、多くの一般市民の皆様に見ていただきました。

◆広報活動の概要

白河駅前イベント広場に設置された屋外テントで、以下の広報活動を行いました。

○パネル展示

阿武隈川上流地区の概要、西郷ダムの概要、地域の農業特産品の概要。

○広報活動資料等の配布

パンフレット、協議会名入りのボールペン・ポケットティッシュ。

○アンケートの実施

土地改良区の認知度、西郷ダムの認知度などについて質問しました。



出展テント



パネルの見学



アンケート回答

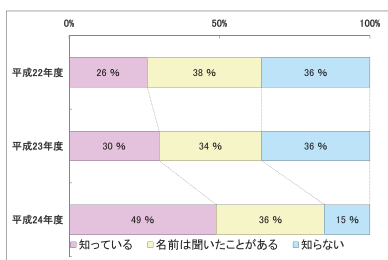


水土里ネットによる風船の配布

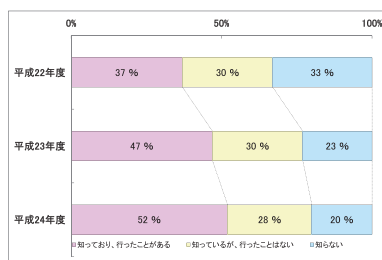
◆アンケート結果

本イベントに3年連続参加し、広報活動を行ってきたことにより、土地改良区、西郷ダム及び農業用水の役割の認知度が高まっています。

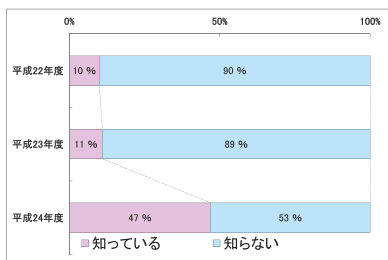
アンケート回答者の多くが地区内の非農家の方々であることから、今後も農業施設管理の啓蒙活動を継続していき、地域の一般市民の理解と支援により農地や農業用水を守る取組に理解を求めていくことが大切であると思われます。



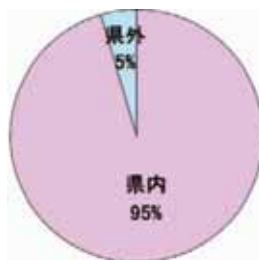
土地改良区の認知度について



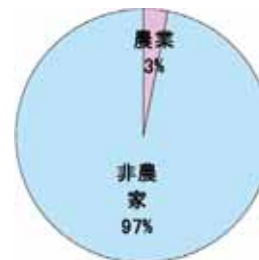
西郷ダムの認知度について



農業用水の役割の認知度について



アンケート回答者の居住地



アンケート回答者の職業

○羽鳥湖（羽鳥ダム）周辺環境美化作業を実施

平成24年10月19日に羽鳥湖環境保全観光対策協議会主催による、羽鳥湖周辺環境美化作業が行われ、羽鳥湖周辺の地域環境の保全に取り組みました。

本取り組みは毎年恒例となっており、天栄村、福島県、羽鳥ダム管理所等の行政機関及び矢吹原土地改良区、羽鳥湖周辺の観光団体等から合わせて約90名が参加しました。

当日は、天候にも恵まれ、参加者毎に割り当てられた清掃箇所で、空き缶やビン、ペットボトルや家庭ごみ等の不法投棄物を回収しました。



美化作業に従事する参加者



ゴミの集積・分別状況

地域情報

○秋の会津路をウォーキング<会津北部地区>

平成24年10月21日に会津北部土地改良区が主催する「第7回水土里ウォークinきたかた2012」が福島県喜多方市の日中ひざわ湖で開催されました。時折、小雨の降る中ではありましたが、地域の方々をはじめ、子供たちも多数参加し、日中ダム堤体を望む約6.0kmのコースをめぐるしました。

また、メイン会場にはブースが開設され、水土里ネットについてのPRが行われました。



日中ダムを背景に記念撮影



みんなでウォーキング!



水土里ネットPRブース

○秋の会津路をウォーキング<会津南部地区>

平成24年10月21日に会津大川土地改良区が主催する「第9回水土里ネット 施設めぐり健康ウォーク」が福島県会津美里町の馬越頭首工～大川幹線用水路間で開催されました。地域の方々をはじめ、子供たちも多数参加し、馬越頭首工や大川幹線用水路を見学しながら、約7kmのコースをめぐるしました。

また、メイン会場にはブースが開設され、水土里ネットについてのPRが行われました。



施設の紹介



水土里ネットPRブース



記念撮影

きらりピープル ～雄国山麓土地改良区～

今回の「きらりピープル」は、**雄国山麓土地改良区、管理主任の山口さん**を訪ねました。

ー主な業務内容を教えてください

山口さん：喜多方市塩川町より、北塩原村の一部までの山麓台地に900ヘクタールの田畑へ用水供給するため水管理施設の維持管理が主な業務となります。

ー改良区に勤務されるようになったきっかけは

山口：20歳まで学生でしたが、当初は喜多方市の測量会社に勤務しておりました。

しかし訳あって退職することになったのですが、その時期に当土地改良区で職員の方が早期退職され、人手が足りなくなって困っていた状況であり、丁度よく当時の理事長に拾われました。たしかその時は24歳だったと思います。

ーお仕事をされているなかで、大変だったことは何ですか

山口：水管理施設で畑用のパイプラインですが、繁忙期で更に猛暑時期に漏水発生したときの対応ですね。

畑ですので毎日水を使いたいですから、早急に復旧しなければならないというプレッシャーが辛いですね。

また、最近では作業機械の導入により随分楽になりましたが、入所当時は殆ど手作業で色々な意味で危険でした。

ーお仕事でのやりがい、嬉しいと感じる時は

山口：やはり水利施設を管理する上で、組合員の皆様が土地改良施設を必要と感じてくれて、「ご苦労さま」「ありがとう」という言葉をかけて頂けると、「ああこの為にやっているんだらうな」と大変喜びます。

ー気分転換の方法はなんですか

山口：私には2人の子供がおりますが、できる限り一緒にお風呂に入るようにしています。

その中で「パパの背中洗う～」と言って洗ってくれるのですが、本当に気持ちよく体も心も洗われます。仕事で辛いことがあってもこれでがんばれますね。ただ希に見返りを要求されるのが痛いですが(笑)

ー雄国山麓地区の自慢をお教えてください

山口：当管内は中山間地という恵まれた環境とは言えないかもしれませんが。しかし農家の皆さんも逆境に負けずと何とかがんばっているところであります。その中で自慢できることを挙げるとすれば、当管内から眺める会津盆地は素晴らしく、これを生かして観光を取り入れた農業とならないか日々考えております。雄国山麓の頂きには雄国沼というまた素晴らしい観光地もありますので、もし会津に来る機会がありましたら喜多方ラーメンや会津産のソバを堪能して管内をドライブし是非お越し下さい。

ー本日はお忙しいところ、インタビューにお付き合いいただきありがとうございます。

山口さんは、仕事に妥協を許さない非常に責任感の強い方だと感じました。

これからもお体にお気をつけて一層のご活躍を期待しております。



(取材：平成25年2月)

編集後記

- ◇紙面作成にあたり、仙台東土地改良区並びに雄国山麓土地改良区におかれましては、ご協力いただき大変ありがとうございました。
- ◇農政に関するご意見・ご質問、事務所や情報誌に関するご要望等がありましたらお寄せください。



○ハンサムウーマン八重と会津藩 大河ドラマ館

福島県会津若松市に、大河ドラマ「八重の桜」の放送に合わせて「ハンサムウーマン八重と会津藩 大河ドラマ館」がオープンしました。盛りだくさんのコンテンツで大河ドラマの世界を体験できるようです。

今、会津は大河ドラマで大変盛り上がっています!

<開催期間：平成25年1月12日～平成26年1月14日>

所在地・連絡先

阿武隈土地改良調査管理事務所



〒960-0241 福島市笹谷字稲場 38-7
TEL 024-555-3780 FAX 024-555-3783

羽鳥ダム管理所



〒962-0623 福島県岩瀬郡天栄村大字羽鳥字水上5-1
TEL 0248-84-2211 FAX 0248-84-2702

安積疏水特別監視支所



〒963-8851 郡山市開成三丁目 36-20
TEL 024-927-0303 FAX 024-927-0301



咲かそう!笑顔のむらづくり

私たちの住む里は、いつまでも美しくたくましく人々と共に息づいてほしいとの願いをシンボルマークに託しました。さんさんと輝く太陽のイメージは、希望と優しくそして、実り豊かな大地のカタチを表しています。太陽の中には笑顔を配し、美しく豊かな自然に生きる人々をシンボライズしています。

編集・発行

阿武隈だより 第40号 平成25年3月 発行
東北農政局 阿武隈土地改良調査管理事務所

URL <http://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/kokuei/abukuma/index.html>